



# 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり ～LRTを活かした富山型都市経営の構築～

富山市副市長 中村 純



# 富山市の概況





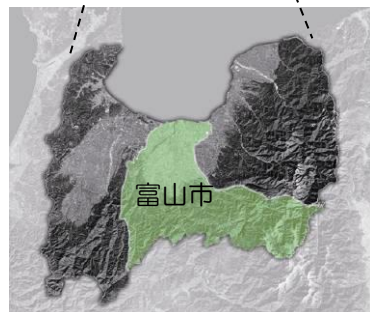
# 富山市の概要

- ・人口は、富山県全体の約4割(421,953人 H22国勢調査)
- ・面積は、富山県全体の約3割(1,241.77km<sup>2</sup>)
- ・海拔0m(富山湾)から2,986m(水晶岳)までの多様な地形
- ・平成27年度一般会計予算額 約1,682億円

## ■日本地図



## ■富山県全図



立山あおぐ特等席。富山市

北陸新幹線(平成27年3月14日 開業)

富山駅上空からみた富山市の市街地

# 都市の特性(課題) ~人口減少と高齢化~



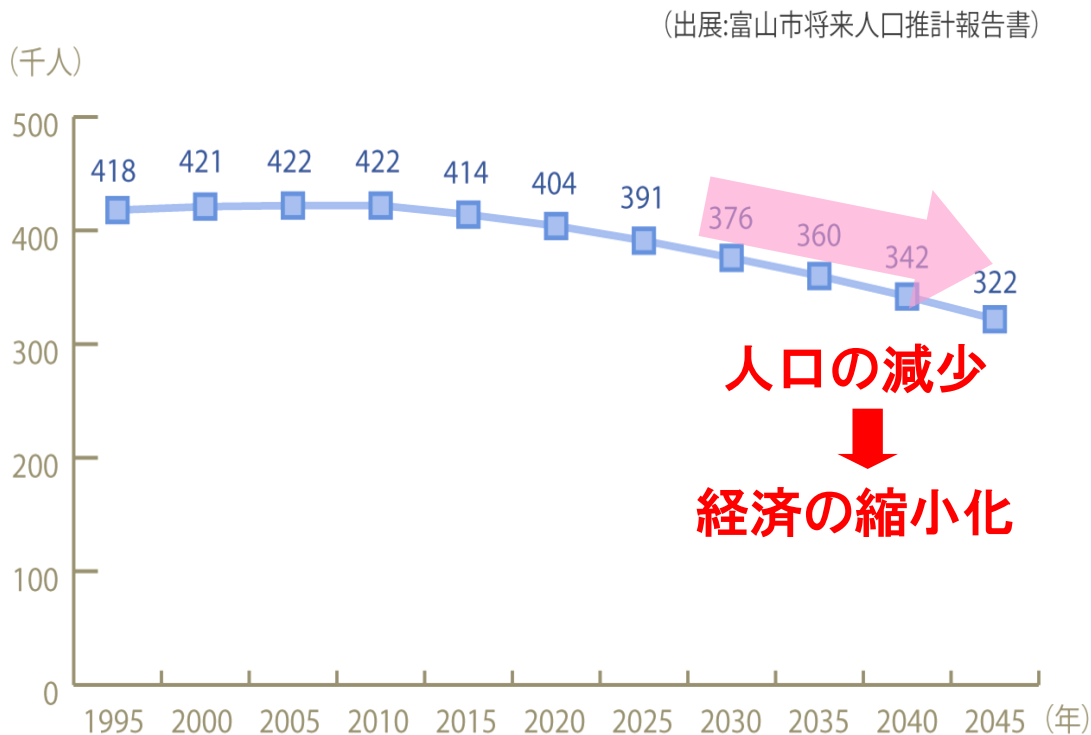
コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■人口減少と超高齢化

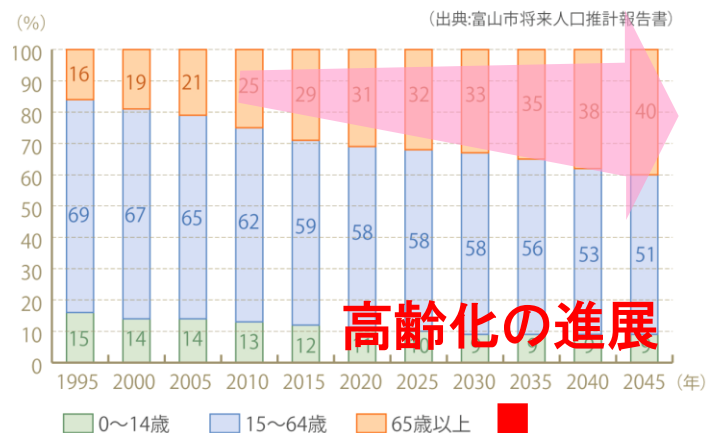
- ・総人口は、2010年をピークに減少に転じ、2045年には2010年から約23%減少
- ・高齢人口は増加し、2045年には全人口の約4割が高齢者となる見込み

⇒ 生産年齢人口の減少による**経済の縮小化**、高齢化の進展に伴う**社会保障費の増大**

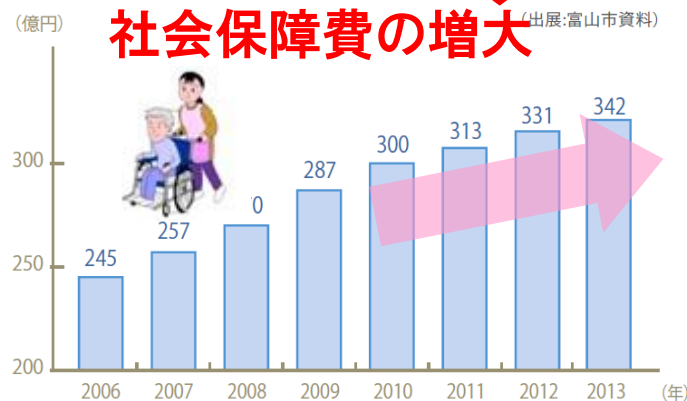
### 総人口の予測



### 年齢区分別人口の予測



### 富山市の介護給付費の推移





# 都市の特性(課題) ~ 過度な自動車依存と公共交通の衰退 ~

## ■ 全国2位の自動車保有台数

世帯あたりの乗用車保有台数

(出典: (財)自動車検査登録情報協会平成26年3月現在)

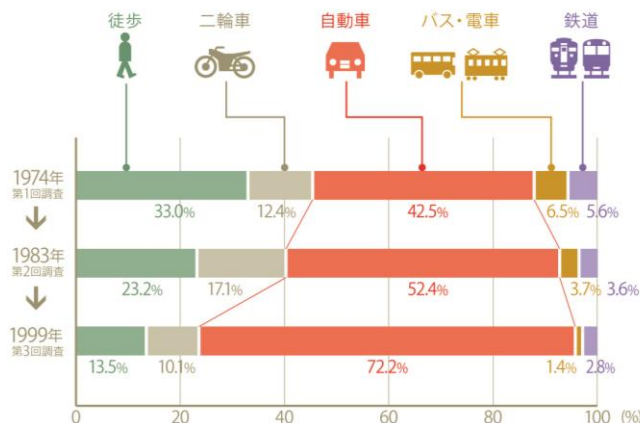
ランク	県名	保有台数	ランク	県名	保有台数
1.	福井県	1,743台	13.	石川県	1,492台
2.	<b>富山県</b>	<b>1,709台</b>	...	...	...
3.	山形県	1,674台	38.	福岡県	1,082台
4.	群馬県	1,654台	39.	長崎県	1,078台
5.	栃木県	1,628台	40.	埼玉県	1,009台
6.	岐阜県	1,605台	41.	北海道	1,007台
7.	茨城県	1,603台	42.	千葉県	1,006台
8.	長野県	1,583台	43.	兵庫県	0,921台
9.	福島県	1,564台	44.	京都府	0,838台
10.	新潟県	1,555台	45.	神奈川県	0,736台
11.	山梨県	1,539台	46.	大阪府	0,660台
12.	佐賀県	1,508台	47.	東京都	0,461台
全国平均		1,069台			

※乗用車とは、普通乗用車(3ナンバー)、小型乗用車(5,7ナンバー)及び軽自動車を指す。

## ■ 高い自動車分担率

交通手段分担率(全目的分担率)

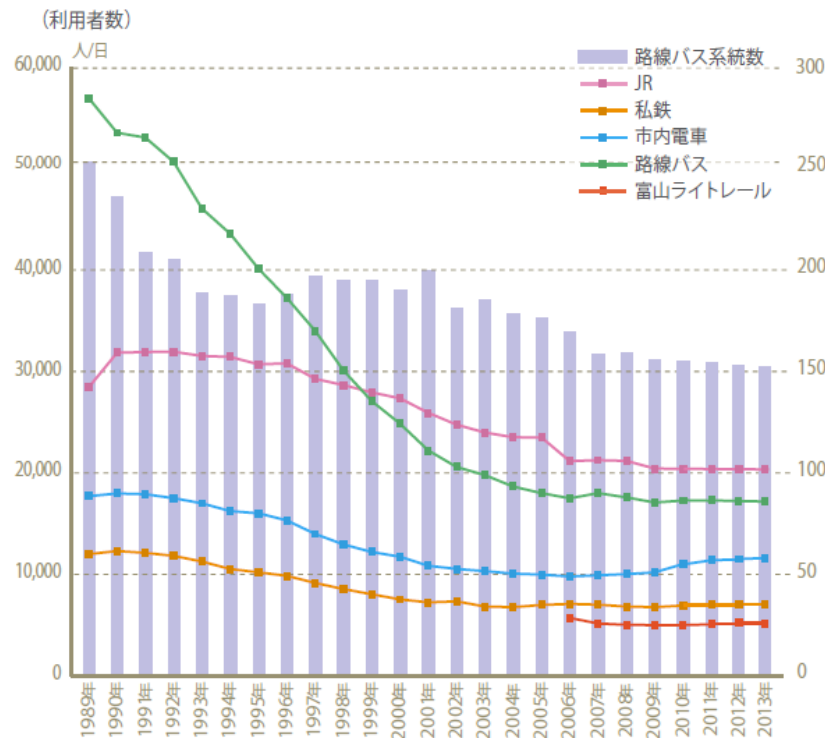
(出典: 富山高岡広域都市圏パーソントリップ第1~3回調査)



## ■ 公共交通の衰退

公共交通の利用者数

(出典: 富山市統計書) (系統数)



⇒ **過度な自動車依存は、公共交通の衰退を招き、路線バスなど身近な公共交通機関ほど利用者が大幅に減少**

# 都市の特性(課題) ~低密度な市街地と公共交通の衰退~

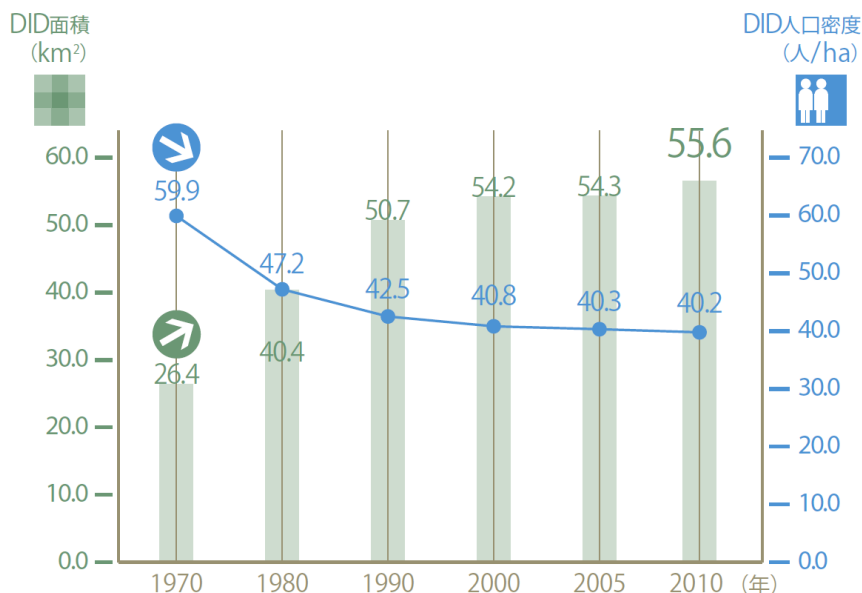
## ■市街地の拡大と低密度化

・県庁所在都市では全国で最も低密度な市街地

⇒ ごみ収集や除雪等都市管理コストの  
上昇、中心市街地の衰退

市街地の面積の拡大と人口密度の推移

(出典：国勢調査)



## ■過度な自動車依存と公共交通の衰退

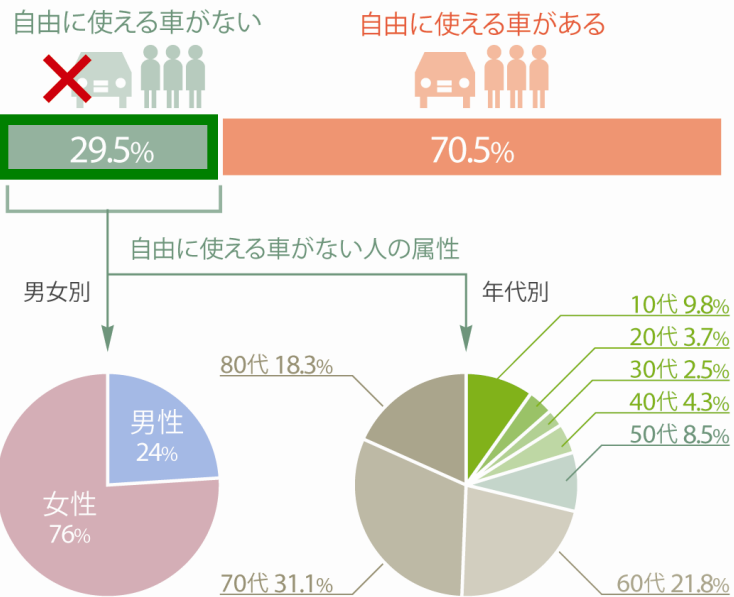
・車を自由に使えない人は市民の約3割

(女性が8割、60代以上の高齢者が7割を占める)

⇒ 「車を自由に使えない人」にとって  
極めて生活しづらい街

車を自由に使えない人の実態

(出典：平成18年富山市の公共交通に関する意識調査)



※「自由に使える車がない人」とは、運転免許証がない人、自分専用の車がない人を指す。

今後の人口減少と超高齢化により、問題はさらに深刻化する恐れ





公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

# コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ＜富山市を取り巻く課題＞

- ①人口減少と超高齢社会
- ②過度な自動車依存による公共交通の衰退
- ③中心市街地の魅力喪失
- ④割高な都市管理の行政コスト
- ⑤CO2排出量の増大
- ⑥市町村合併による類似公共施設
- ⑦社会資本の適切な維持管理
- ⑧平均寿命と健康寿命の乖離

富山市は、これらに対応できる**地方都市の1つの未来像を提示**

## 1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

## 2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

中心市街地の活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

## 3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など

▶▶ **持続可能な都市経営を実現し、総合力を発揮した、「選ばれる都市」へ**



# 富山市のまちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

## ＜概念図＞

### 富山市が目指すお団子と串の都市構造

**串** : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

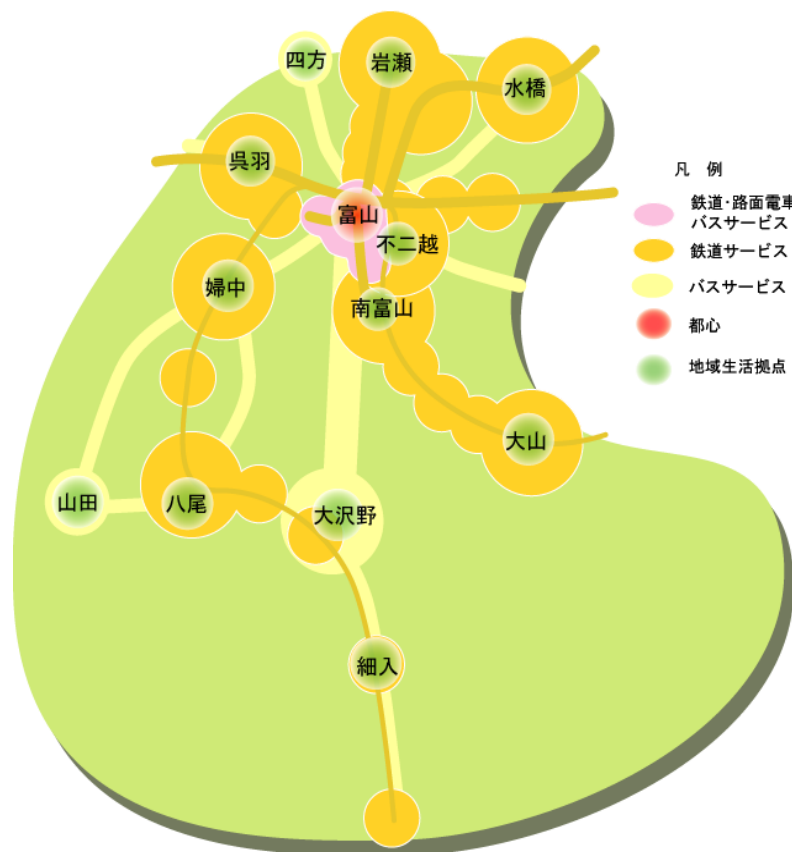
**お団子** : 串で結ばれた徒歩圏

## ＜実現するための3本柱＞

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化





# 公共交通の活性化



# 富山市の公共交通網 ～鉄軌道及び路線バス～






富山駅を中心に放射状のネットワークを形成している

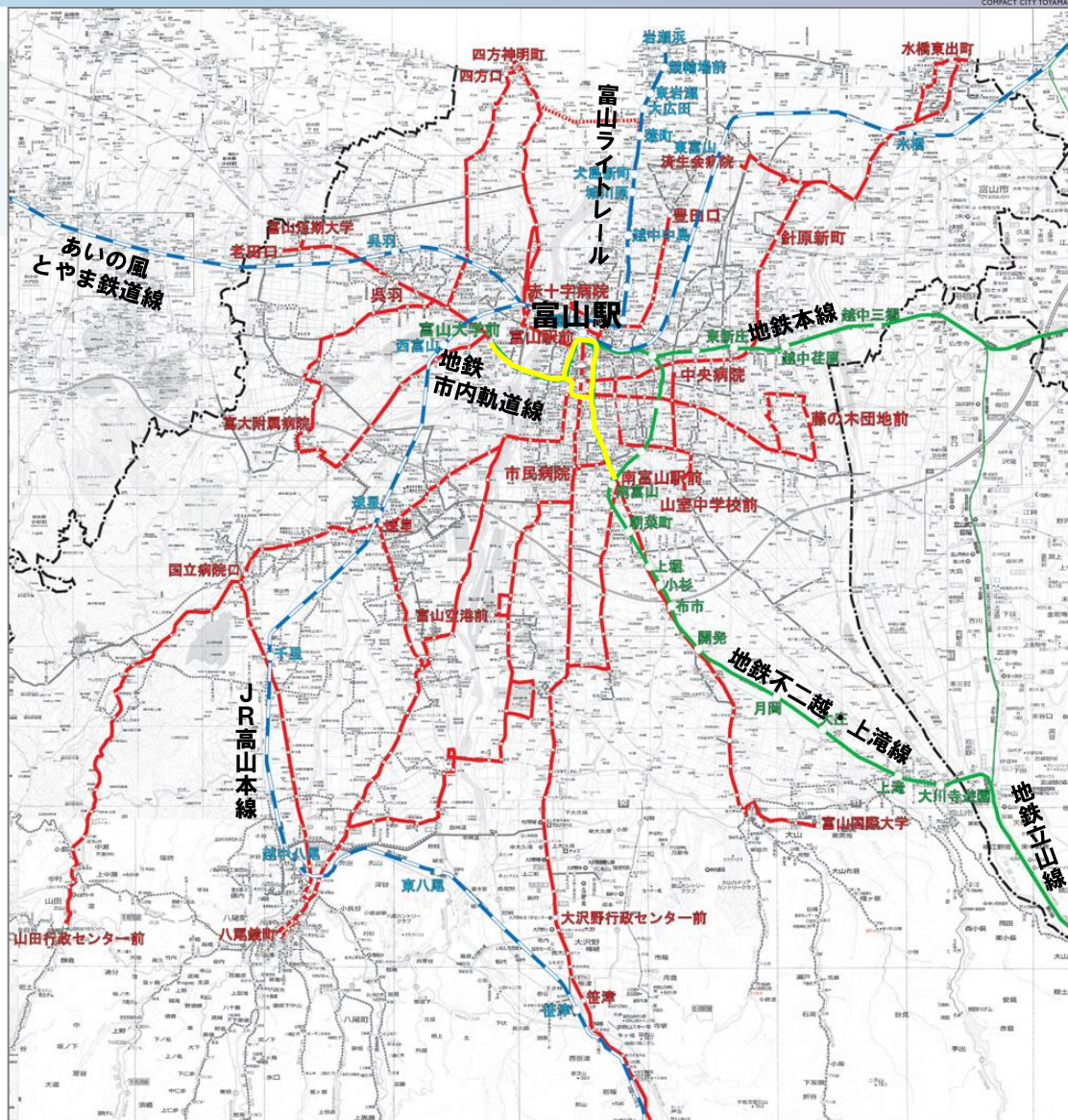
## ■鉄軌道(7路線)

- ・北陸新幹線
- ・あいの風とやま鉄道線（並行在来線）
- ・JR高山本線
- ・地鉄本線・立山線
- ・地鉄不二越・上滝線
- ・地鉄市内軌道線（環状線含）
- ・富山ライトレール

## ■路線バス

- ・富山地方鉄道株が運行するものを中心に約100系統の路線

	JR、あいの風とやま鉄道
	富山地方鉄道（鉄道）
	富山地方鉄道（軌道）
	富山ライトレール
	主要バス路線





# 富山ライトレールの整備 ～JR富山港線のLRT化～

利用者の減少が続いていたJR富山港線（鉄道）を**公設民営**の考え方を導入し、**日本初の本格的LRTシステム**に蘇らせた取り組み

## ＜路線概要＞

- 開業日：平成18年4月29日
- 延業長：7.6km  
(鉄道区間6.5km、軌道区間1.1km)
- 電停数：13
- 車両数：7編成(2両1編成)
- 所要時間：約25分(富山駅北ー岩瀬浜)

## ＜運行サービスの向上等＞

運行間隔の改善、新駅の設置、低床車両の導入、バリアフリー化、ICカードの採用、アテンダントの配置 等

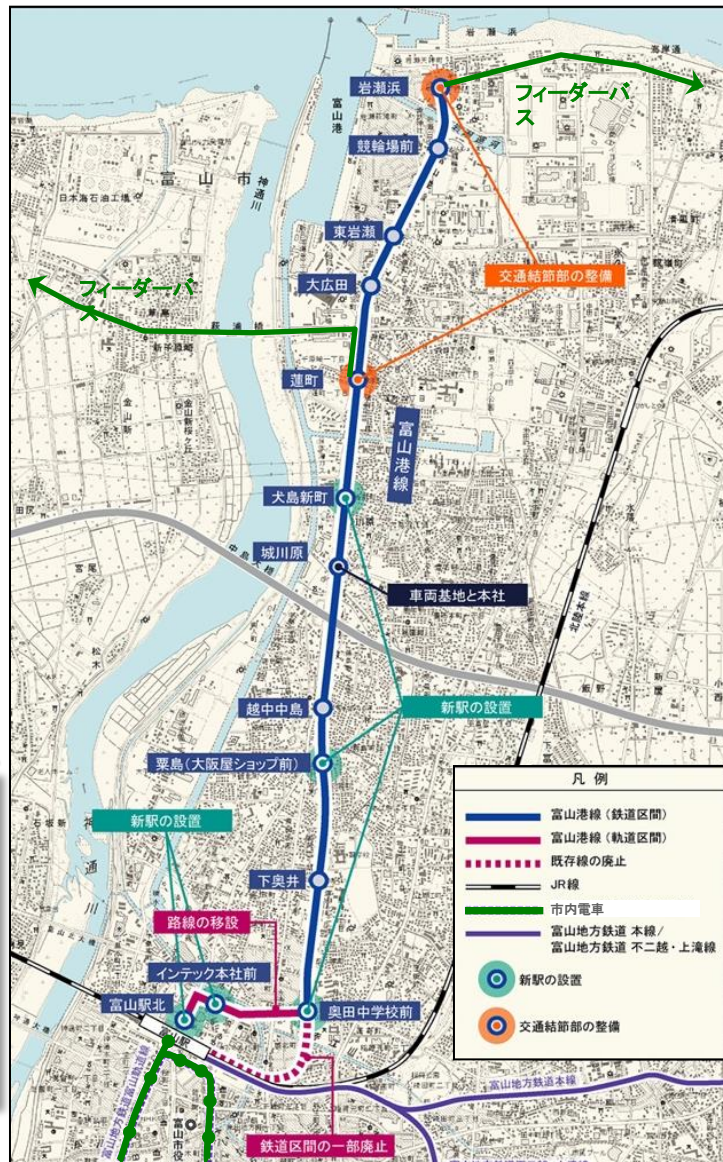
**日本初の本格的LRTとして再生**



▲旧JR富山港線



▲富山ライトレール (愛称ポートルム)



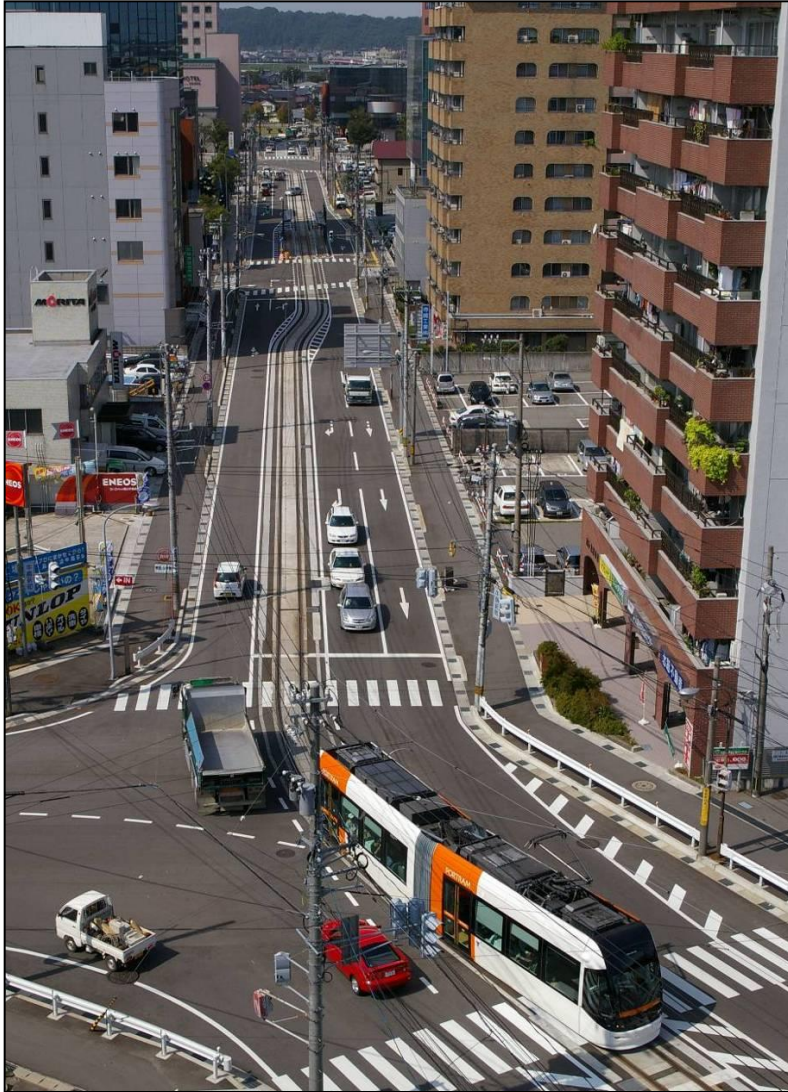


# 富山ライトレールの整備 ～富山ライトレールの走行風景～



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■ 軌道区間(都市計画道路綾田北代線)



## ■ 鉄道区間(蓮町駅)





# 富山ライトレールの整備概要



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## ■ 運行サービスの向上

	旧JR富山港線		富山ライトレール
運行間隔	30～60分	→	15分 (ラッシュ時は10分)
始発・終電	5時台・21時台	→	5時台・23時台
駅数	9駅 (富山駅除く)	→	13電停
車両	鉄道車両	→	全低床車両

運賃は200円均一制に。

## ■ 車両の低床化と電停のバリアフリー化



## ■ アテンダントの配置(H22.8～)



## ■ フィーダーバスの運行

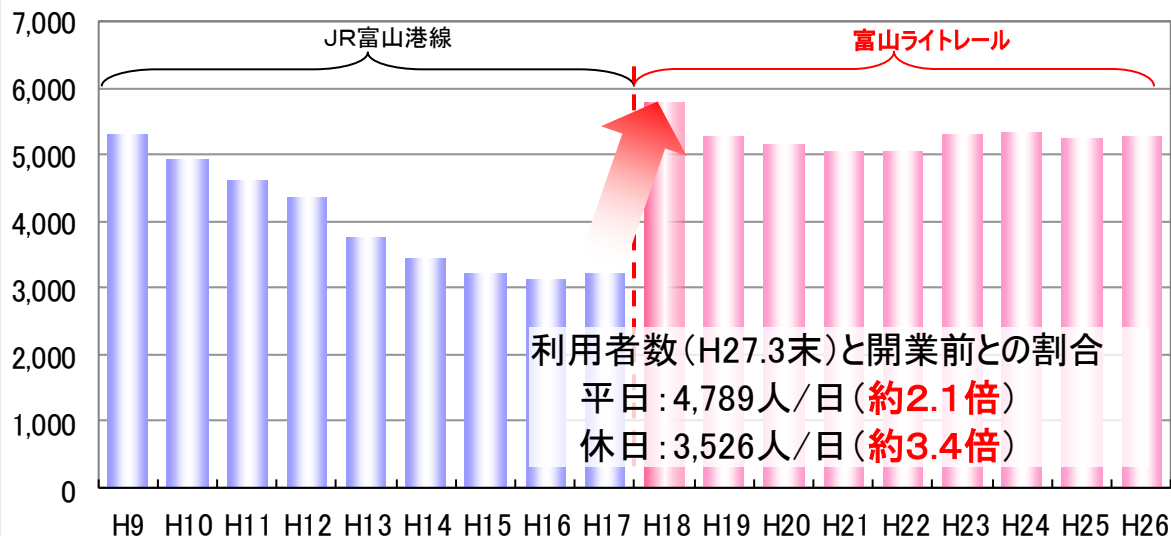




# 富山ライトレール(ポートラム)の整備効果

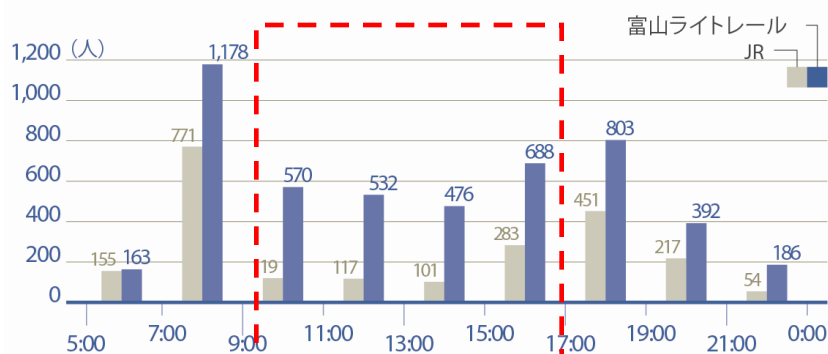
H18. 4. 29開業

■開業前と比較して、利用者数が平日で約2.1倍、休日で約3.4倍へと大幅に増加

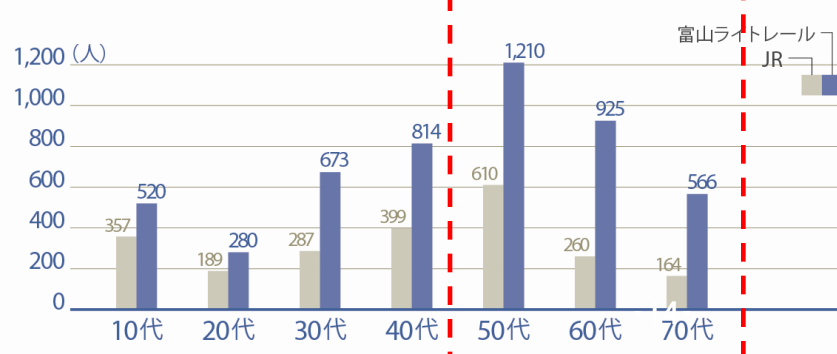


■日中の高齢者の利用が増加 (ライフスタイルの変化)

1日あたり 時間帯別の利用者数の変化(平日)



1日あたり 年代別の利用者数の変化(平日)



# 市内電車環状線化事業 ～セントラムの整備～

中心市街地活性化と都心地区の回遊性の強化を目的に、市内電車を一部延伸

- ・日本初の**上下分離方式**の導入
- ・魅力ある**都市景観**の構築に向けた道路空間との一体的な整備

## <路線概要>

- 開業日：平成21年12月23日
- 延長：約0.9km（環状線区間約3.4km）
- 電停：延伸区間に3箇所新設
- 車両：新型低床車両を3編成導入

富山駅高架下で  
接続(予定)



▲市内電車環状線(愛称:セントラム)



# 市内電車環状線化事業 ～LRTと調和した都市景観の形成～

- 魅力ある都市景観の構築に向けた道路空間との一体的な整備のため、車両、電停、車道、歩道等にトータルデザインを採用

全体コンセプト＝富山都心の魅力を楽しむ・LRTのある新しい風景づくり

○メタリック系の色彩を用い、都市的、モダンで高質な表情のセントラム



○城址とLRTが融合・調和する美しい景観



○軌道・車歩道が一体に見える、トランジットモールを想わせるデザイン



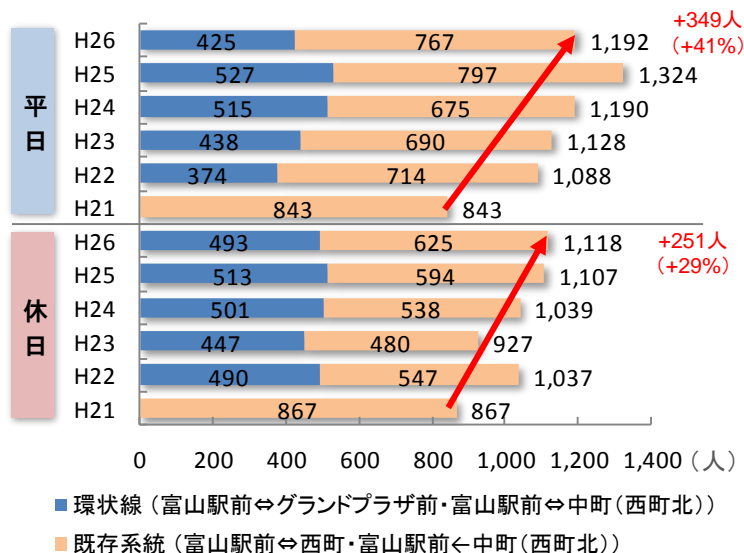
○周辺再開発事業と連携した、高質で都心的デザイン



# 市内電車環状線化事業の整備効果

## <商業の賑わいや立地環境の向上>

【富山駅前⇄中心市街地の交通利用者数推移】

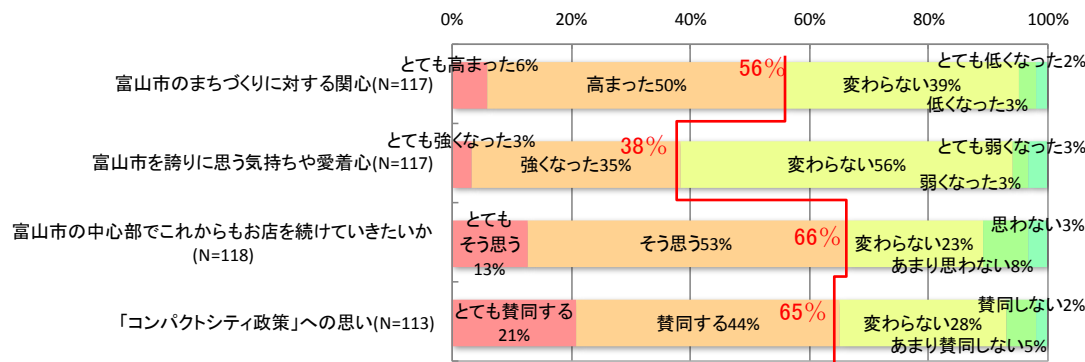


- 富山駅前と中心市街地の交通利用者数は、開業前と比べて平日は41%、休日は29%増加している。

《H21～H26OD調査結果》

- 富山市の中心部でこれからもお店を続けていきたいと回答している商業者が多い。

【現在のまちに対する思い】



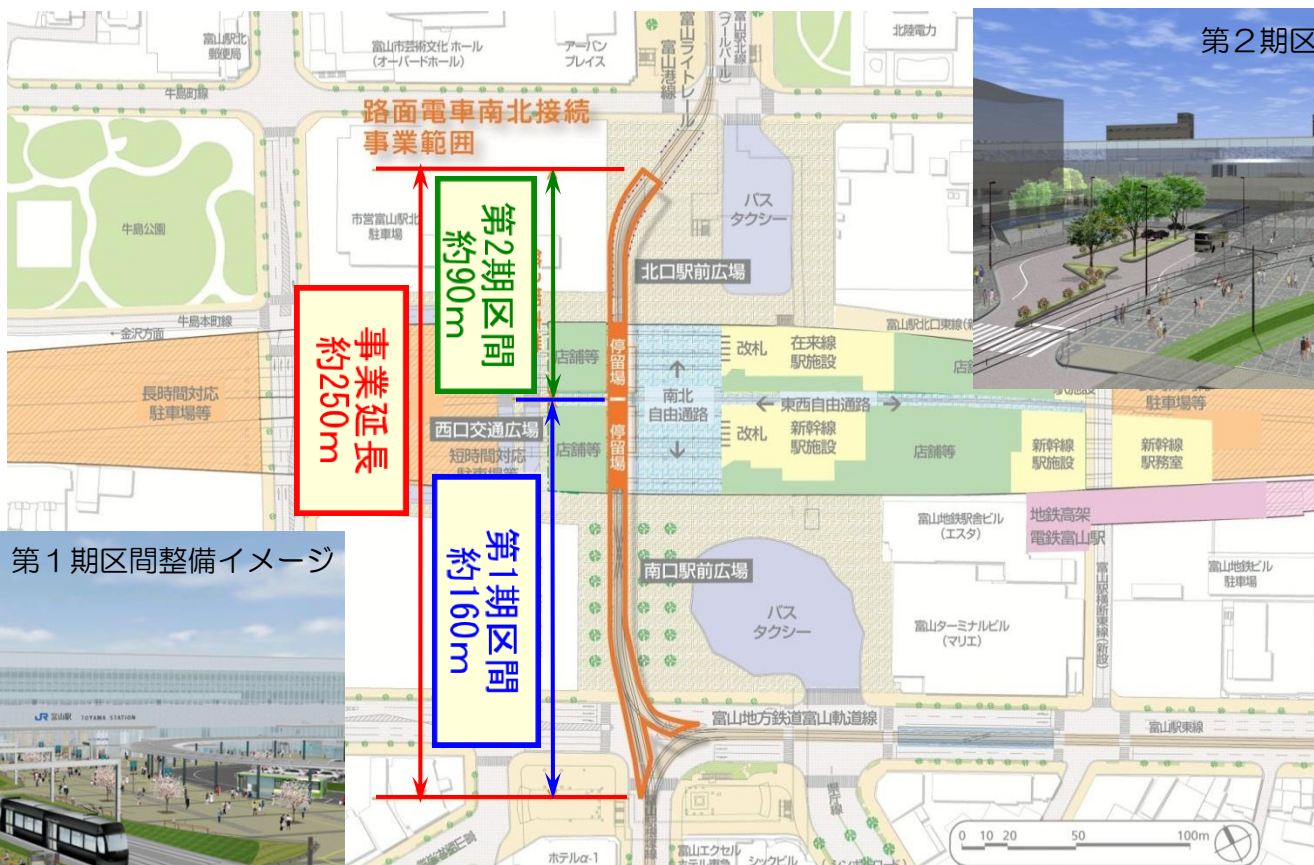
《H26商業者アンケート調査結果》



# 路面電車の南北接続事業

富山駅南側の市内電車と北側の富山ライトレールを富山駅高架下で接続し、公共交通の利便性向上と **LRTネットワークの形成を図る**

- ・ **第1期事業**：北陸新幹線開業に合わせて**新幹線高架下へ市内電車を乗入れ**
- ・ **第2期事業**：在来線高架化に合わせて**市内電車と富山ライトレールを接続**



# 路面電車の南北接続事業 ～高質な軌道空間の整備～

ターミナルとしての機能面に加え、**デザイン性にも配慮した質の高い軌道空間を整備**



## <軌道空間>

- ・自然石(黒御影石)を用いた張石舗装
- ・**門型の架線柱を連続して配置し、サインやLED照明機能の付加など多目的な用途に活用するとともに、南北の軸線を強調**

## <高架下停留場>

- ・停留場施設は朝夕のラッシュ時にも対応可能な**3面2線形式**
- ・停留場西側壁面には**富山の工芸ガラスやアルミパネルを設置したトランジット・ライティング・ウォールを整備**

新幹線側:H=7m、W=35m

在来線側:H=5.1m、W=28m(第2期事業)





# 路面電車の南北接続事業 ～利便性の高い停留場整備～

## 新幹線高架下(新幹線改札口の前)に路面電車停留場を設置(全国初)



### <高架下停留場>

- ・新幹線改札口との距離はわずか38m  
(目の前に路面電車が見える)
- ・雨や雪を気にせず乗換が可能

⇒ **乗継利便性の大幅な向上**



# 富山を象徴するLRTのある風景



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

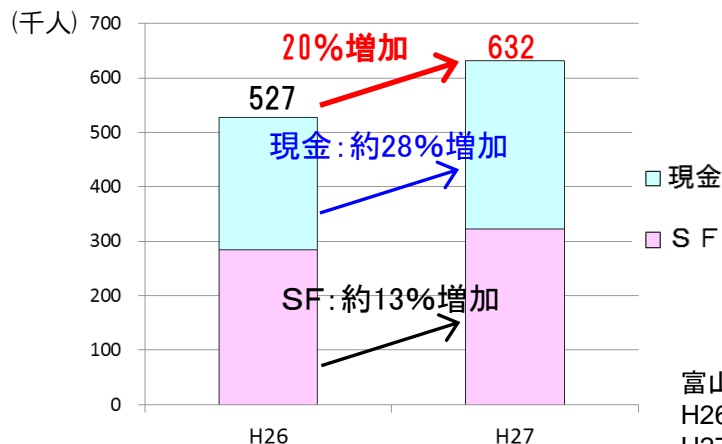




# 路面電車南北接続事業の整備効果

## ・新幹線開業との相乗効果

### ①新規利用や来街者の動向(定期外利用人員:定期券利用者を除く利用人員)

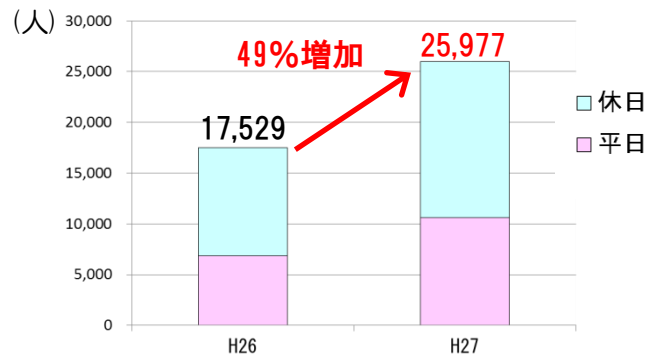


- ・市内電車（環状線含む）の定期外利用者は開業前に比べ約2割増加
- ・現金利用者が約3割増
- ⇒新規利用や来街者利用の増加

富山地方鉄道株式会社集計値  
H26: H26.4月～6月における輸送人員  
H27: H27.4月～6月における輸送人員  
※SF (Stored Fare): チャージ式ICカード利用人員

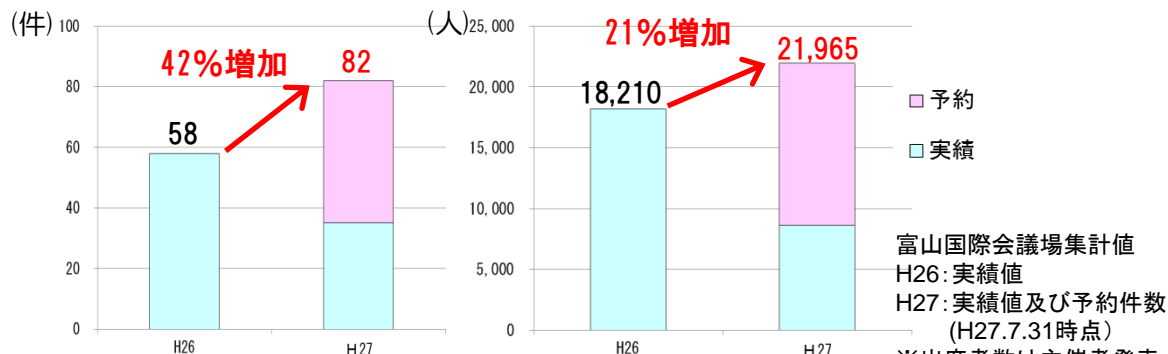
### ②沿線施設利用状況

#### ・富山市郷土博物館(富山城)利用状況



富山市郷土博物館集計値  
(H26及びH27年の4月～7月における入館者数の合計)

#### ・富山国際会議場利用状況(全国規模・県外規模)



富山国際会議場集計値  
H26: 実績値  
H27: 実績値及び予約件数 (H27.7.31時点)  
※出席者数は主催者発表値の合計



LRTを活かしたまちづくり

# グランドプラザの整備

平成19年9月オープン



積雪寒冷地の気候にも配慮し、賑わいの核となる全天候型の多目的広場を整備  
年間82.4%(休日:99.1%、平日:74.6%)がイベント等で利用されている。(平成26年度実績)



・事業主体  
富山市

・工事期間  
H18.5～H19.8

・事業費  
約15.2億円

・施設概要  
施設面積:  
約1,400㎡  
(65m×21m)  
天井までの高さ:  
約19m  
大型映像装置:  
約277インチ



# グランドプラザの利用状況



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

▶ エコリンク



◀ 幼稚園児によるフットサル大会



▶ 市役所職員によるバンド演奏



◀ 蚤の市(コモルシエ)



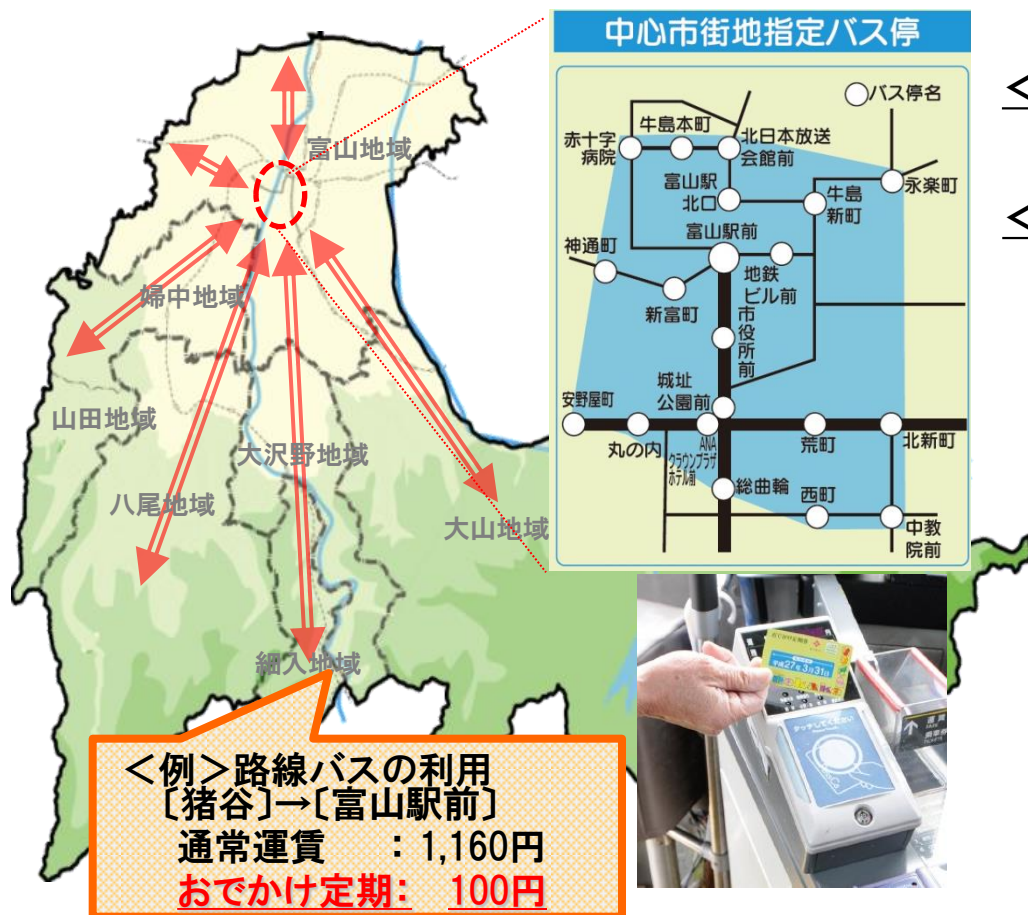


# おでかけ定期券事業



交通事業者と連携し、65歳以上の高齢者を対象に**市内各地から中心市街地へ出かける際に公共交通利用料金を1回100円とする割引制度を実施**

高齢者の **約23%**がおでかけ定期券を所有し、**1日平均2,633人**が利用（平成26年度実績）  
**高齢者の外出機会の創出、中心市街地の活性化、交通事業者への支援等に寄与**



## ＜おでかけ定期券の申込み＞

65歳以上の方、利用者負担金1,000円

## ＜おでかけ定期券の利用＞

①利用時間帯: 午前9時～午後5時

②利用区間

〔路線バス〕(H16.5～)

富山市内各地  
 中心市街地等  
 富山市内各地

中心市街地等の区間  
 中心市街地等の区間  
 富山市民病院の区間

〔地鉄電車〕(H20.4～)

富山市内各駅  
 電鉄富山駅  
 南富山駅

〔路面電車〕(H23.4～)

市内電車(環状線含む)、富山ライトレール

# 質の高い魅力的な市民生活づくり <高齢者の外出機会の創出>

高齢者の外出機会を促進するとともに、世代間交流を通じて**家族の絆を深める**ため、祖父母と孫(曾孫)と一緒に来園(来館)された場合に**入園料(観覧料)を全額減免(平成27年度から砺波市・小矢部市・南砺市と連携開始)**



孫といっしょなら  
**ジジターダ。**

孫とおでかけ 15施設で観覧料等が無料!

お孫さんと一緒にご来館のおじいちゃん、おばあちゃんも無料になります。 (※2024年4月1日開始)

ファミリーパーク	科学博物館	天文台	郷土博物館
佐藤記念美術館	民俗民芸村	浮田家住宅	旧商家住宅
大山歴史民俗資料館	種谷開所館	八尾おわら資料館	八尾登山展示館
八尾化石資料館	ジップライン・アドベンチャー立山	エコリンク	

富山市



孫といっしょなら  
**バーバターダ。**

孫とおでかけ 15施設で観覧料等が無料!

お孫さんと一緒にご来館のおじいちゃん、おばあちゃんも無料になります。 (※2024年4月1日開始)

ファミリーパーク	科学博物館	天文台	郷土博物館
佐藤記念美術館	民俗民芸村	浮田家住宅	旧商家住宅
大山歴史民俗資料館	種谷開所館	八尾おわら資料館	八尾登山展示館
八尾化石資料館	ジップライン・アドベンチャー立山	エコリンク	

富山市

期 間  
平成24年7月 ~

## 対象施設

富山市の対象施設  
ファミリーパーク、科学博物館、天文台、郷土博物館、ジップライン・アドベンチャー立山、ガラス美術館、エコリンクなど16施設

## 対象者

一緒に入園等される祖父母と孫・曾孫  
(富山市の場合は居住地の制限なし。  
砺波市・小矢部市・南砺市の場合は祖父母の方の居住地が富山市と砺波市・小矢部市・南砺市に限る。)

## 実 績(ファミリーパーク、科学博物館等の12施設利用者数)

H23:616, 529人(事業開始前)  
H26:664, 199人(うち祖父母・孫52, 522人)

**入園(館)者数が約7.7%増加**

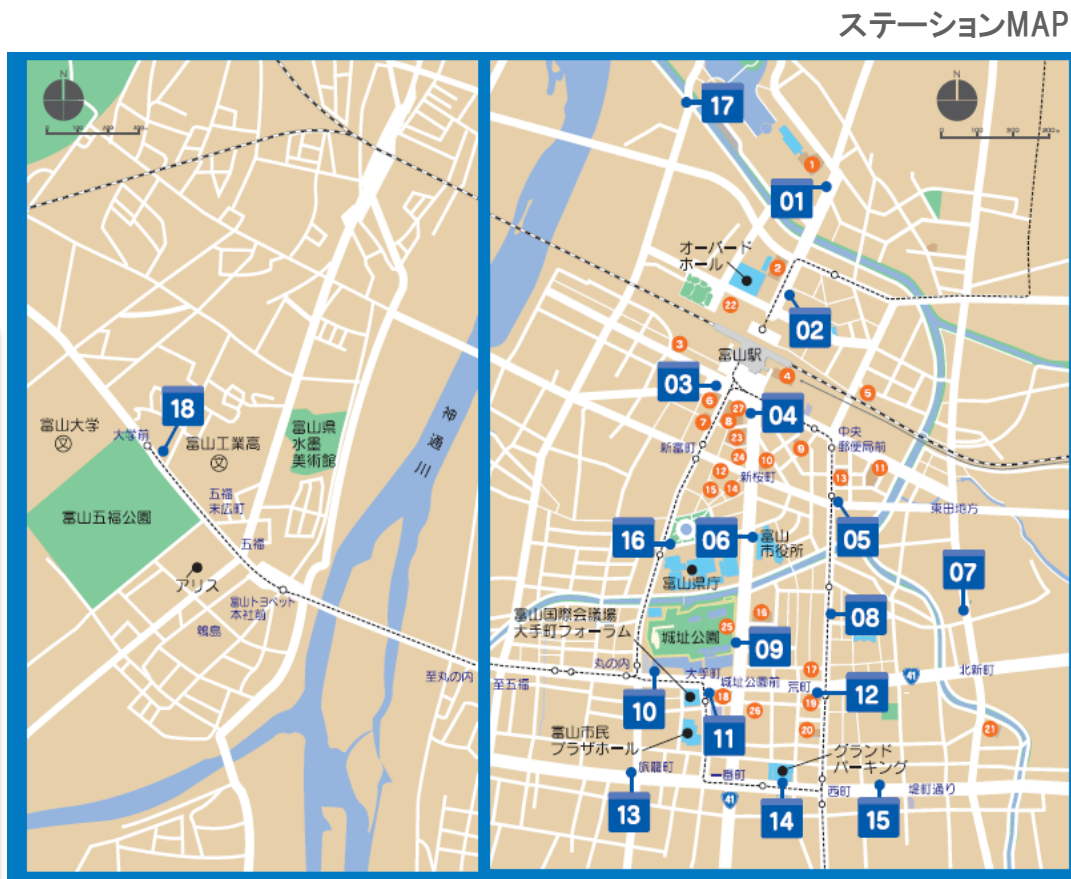


# 自転車市民共同利用システム

中心市街地の18箇所に設置された専用ステーションから、自由に自転車を借りて任意のステーションに自転車を返却することができる新しいコミュニティサイクルシステムを導入

## <システム概要>

- 供用開始 : 平成22年3月20日
- 運営主体 : シクロシティ株式会社
- 自転車数 : 195台
- 利用時間 : 24時間、365日  
いつでも利用可能



# 魅力ある都市景観の形成

## ■ 街路景観を演出するハンギングバスケット、バナーフラッグ等の設置





# BEATRAM MUSIC FESTIVAL 2015



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

民間企業等が主体となり、市内電車環状線セントラムをシンボルとした「街なか野外音楽フェス」を2012年より開催。周辺商業主等とも連携し、中心市街地の活性化やまちの魅力発信、音楽文化の振興等を図る。



貸切車両内での演奏

ロックはつづくよ、どこまでも。



日時

平成27年10月10日(土)・11日(日)



城址公園での野外音楽フェス

## 概要(昨年)

- ・城址公園での大型野外音楽フェス
- ・周辺ライブハウス等での関連イベント
- ・ ترامを貸し切った「 ترامステージ」
- ・ 来場者は約3,000人(無料ゾーン含む)
- ・ 2日間で約48組アーティストが出演



# 市内電車環状線(セントラム)沿線のライトアップ

市内電車環状線(セントラム)沿線において、市民や民間企業が主体となり、**夜間景観の演出を2013年より開催**。中心市街地の賑わい創出を図る。



▲LEDペットボトル企画



▲沿線ビルスのライトアップ



▲ライトアップを楽しむ様子

## 実施主体

環状線沿線夜間景観  
ライトアップ実行委員会

## 日時

平成27年10月10日(土)  
11日(日)

## 概要(昨年)

- ・沿線のライトアップ
- ・LEDペットボトル企画
- ・特別乗車券の販売
- ・参加者:延べ2,100人



# 花Tram事業



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## 《花Tram事業》

華やかで明るい空間を演出し、「花で潤うまち」を創出するため、指定の花屋で花束を購入し、市内電車等に乗車された方々の**運賃を無料化**

### 期 間

平成24年11月 ~

### 内 容

- ・花束を購入すると無料乗車券を進呈
- ・降車時に運転手に花束を提示し、無料乗車券を渡すと運賃が無料に

### 花 屋

市内電車沿線等の計22店舗

### 実 績

利用者数: 2, 280人 (H24.11.18~H27.3.31)

※H25.4~H25.8の期間は除く

※H26: 1,290人

(内訳: 地鉄 980人、ライトレール 310人)



いいことがあった日、  
花を買って、電車に乗った。  
また、いいことがあった。



# 中心市街地において活発化する民間投資



公共投資が呼び水となり市街地再開発事業など民間投資が活発化





# 富山市ガラス美術館・図書館複合施設（平成27年8月22日開館）



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA

## 中心市街地にガラス美術館と市立図書館等が入る複合施設を整備

繊細な陰影や透明感をもたせた  
街に開かれたファサード



県産の木材等、自然素材を用いることで、  
ぬくもりを感じるスパイラルパサージュ



# 総曲輪西地区第一種市街地再開発事業

平成28年度完成予定



## ■外観イメージ図



## ■イメージ図



**施 行 者:** 総曲輪西地区  
市街地再開発組合

**敷地面積:** 約5,686㎡

**延床面積:** 約26,910㎡

**規 模:** 地上9階、地下1階

**主要用途:** 商業施設

(シネマコンプレックス等)

宿泊施設、住宅施設、

駐車場





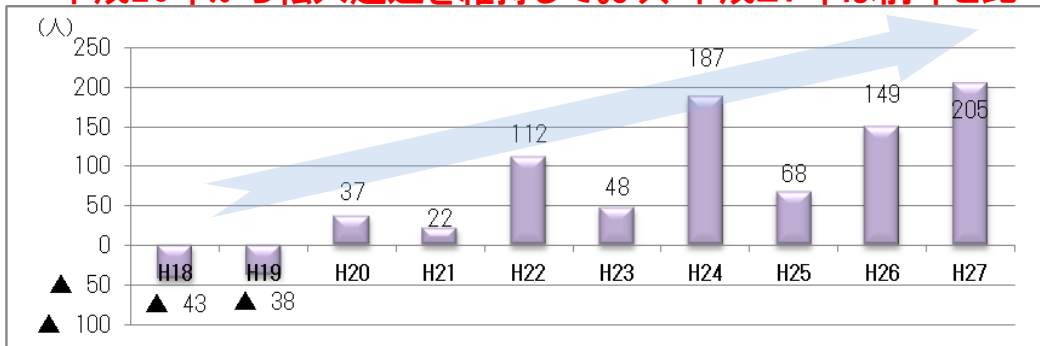
# コンパクトなまちづくりの効果

# コンパクトなまちづくりの効果

## ～転入人口の増加～

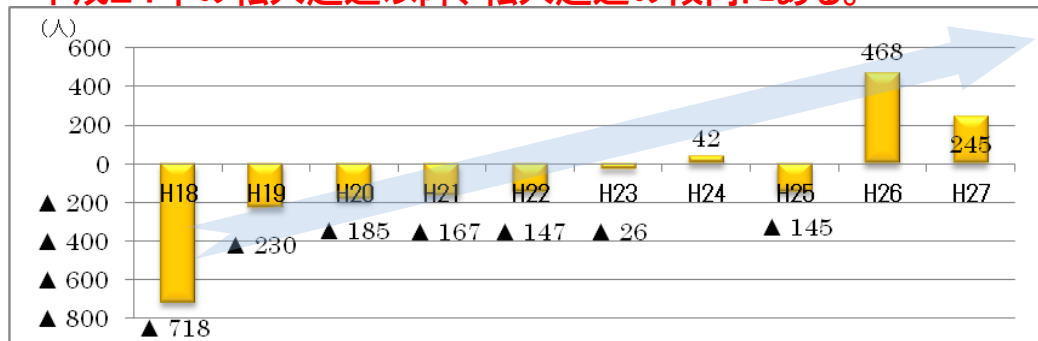
### 【中心市街地(都心地区)の社会増減(転入－転出)の推移】

・平成20年から転入超過を維持しており、平成27年は前年と比べて超過数が増加している。



### 【公共交通沿線居住推進地区の社会増減(転入－転出)の推移】

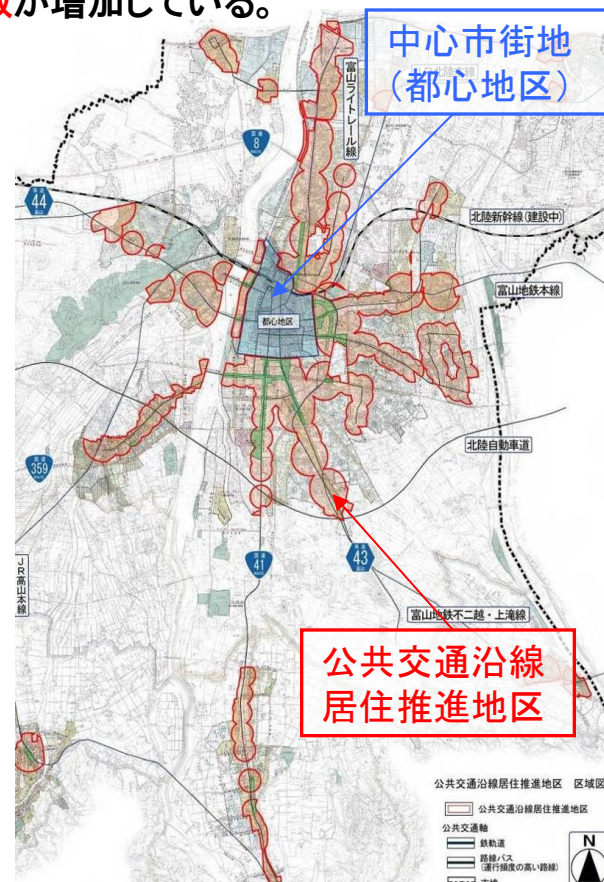
・平成24年の転入超過以降、転入超過の傾向にある。



### 【中心市街地(都心地区)における人口動態の推移の推移】

・調査結果のある平成18年以来、初めて人口増加となった。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
①自然動態 (出生－死亡)	▲ 181	▲ 144	▲ 149	▲ 156	▲ 149	▲ 133	▲ 205	▲ 184	▲ 156	▲ 166
②社会動態 (転入－転出)	▲ 43	▲ 38	37	22	112	48	187	68	149	205
③人口動態 (①+②)	▲ 224	▲ 182	▲ 112	▲ 134	▲ 37	▲ 85	▲ 18	▲ 116	▲ 7	39



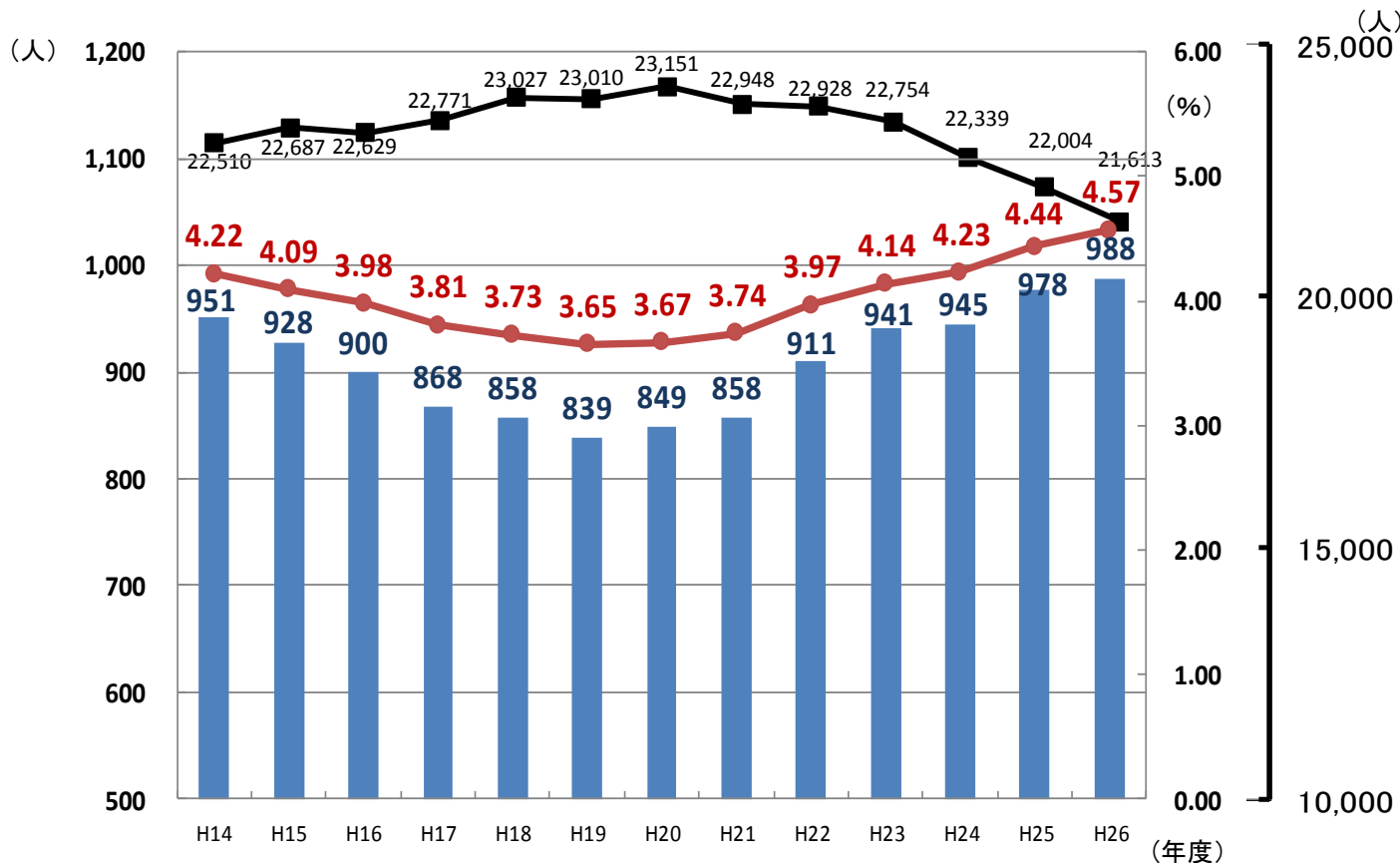
※H17以前の都心地区のデータがないため、都心地区と区域の大部分が重なる中心部5地区(総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町)の人口について検証すると、中心部5地区の人口は、昭和34年をピークに減少している。このことから、都心地区の人口は56年ぶりに増加になったと推定できる。



# コンパクトなまちづくりの効果 ~中心市街地の小学校児童数の増加~

- ・中心市街地の小学校児童数が **149人(17.8%)増加** (H19-H27)
- ・富山市全体に占める中心市街地の小学校児童の割合が **0.9ポイント増加** (H19-H26)

【富山市立小学校児童数と中心市街地(芝園、中央小校区)児童数の推移】



■ 中心市街地(芝園、中央小校区)児童数

● 中心市街地(芝園、中央小校区)児童数の割合

■ 市立全小学校児童数

※出展:学校基本調査

【芝園小中学校】



# コンパクトなまちづくりの効果 ～市内電車の利用状況～

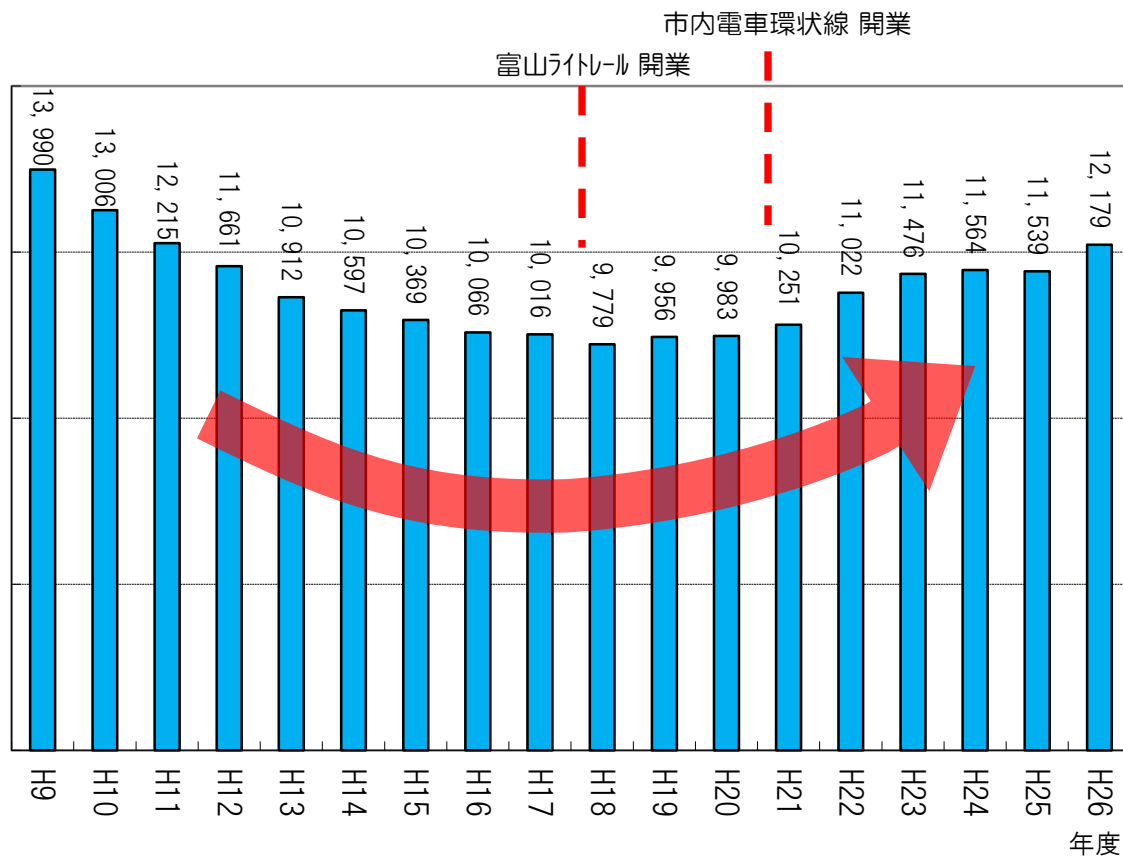
市内電車利用者数は平成18年度まで減少傾向が続いていたが、富山ライトレールや市内電車環状線の整備、ICカードシステムや低床車両の導入など路面電車の活性化に向けた取組みにより、**市内電車の利用者数が平成19年度以降は増加に転じている。**

【市内電車路線図】



16,000 人/日  
 12,000 人/日  
 8,000 人/日  
 4,000 人/日  
 0

【1日当り乗車人数の推移】



※1系統・2系統南富山駅前行きは中町(西町北)には停車致しません。



# コンパクトなまちづくりの効果 ～地価調査(H27年1月1日)結果～



- 県全体の地価平均は、平成5年以降(22年連続)下落 平均▲0.6%
- 富山市全体では平均+0.2%上昇、特に商業地は平均+0.8%上昇
- 商業地では富山駅周辺や環状線沿線を中心に価格上昇地点は9地点(昨年2地点)

## <上昇に転じた要因>

- ・ 商業地：北陸新幹線開業により富山駅周辺では、飲食店舗の進出が多数見られる  
市内電車環状線沿線で活発化している  
再開発事業計画への期待
- ・ 住宅地：中心市街地周辺では、都心回帰の動き  
市内電車環状線沿線での需要が堅調



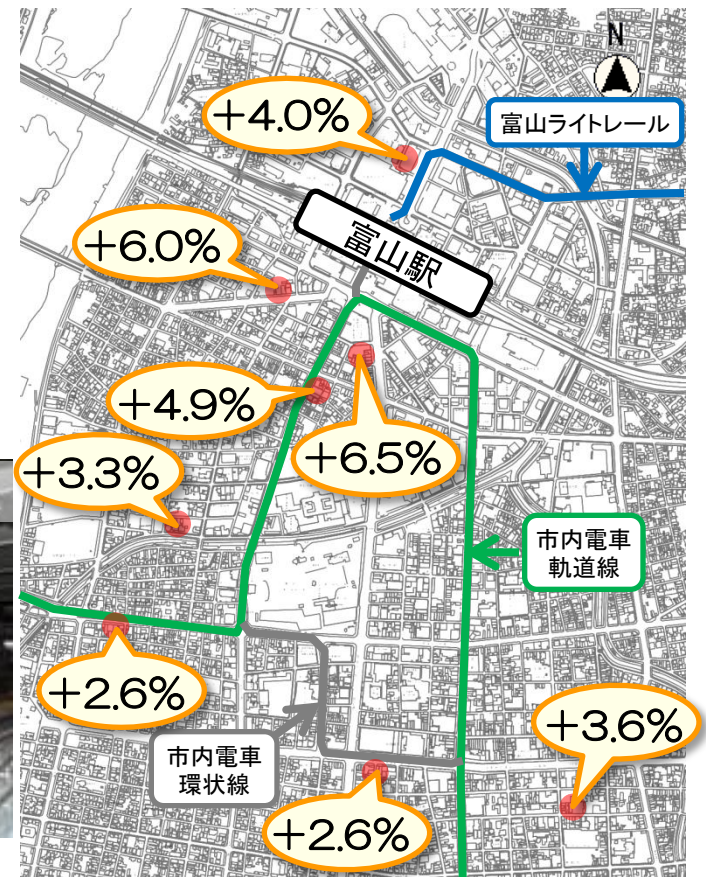
市内電車沿線区間



富山駅高架下LRT空間

(平成27年地価調査より)

※地価調査(県調査、基準日:1月1日)、調査地点数(市内88地点)



【地価上昇率が大きい地点】



# LRTが走るまちの風景



CENTRAM